

BRONICA

— 使いかた 写しかた

lenza
BRONICA-S

BRONICA

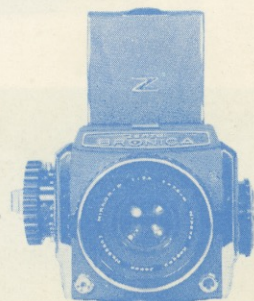
BRONICA

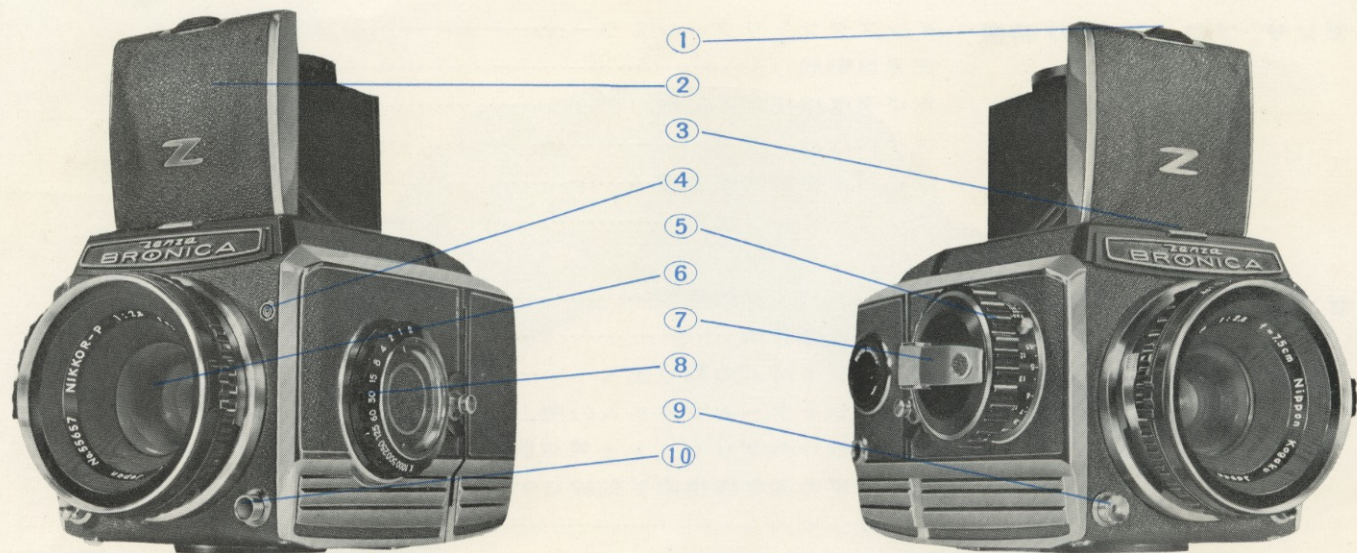
ゼンザ ブロニカ S の特徴

インスタントリターンミラー	4
完全自動絞り	5
焦点深度検視用手動絞りボタン	5
フィルムバック	6
フィルム自動緊張装置	7
ニッコールレンズ群	7

ゼンザ ブロニカ S の使い方

フィルムバックの着脱	9
フィルムの装填	10~11
撮影済フィルムの取り出し	11
撮影①シャッターとフィルムの捲上	12
②絞りのプリセットと焦点調節	12~13
③焦点深度検視用手動絞りボタン	13
④シャッター	14
⑤ミラー単独落しボタン	15
⑥露出	15
⑦二重露出	16
⑧レンズの交換	16
⑨フラッシュ撮影	17
⑩近接撮影	17
ストラップ	18
ニッコール交換レンズ群性能表	18
フィルター	19
性能	20





① ピントフード開閉ボタン

② ピントフード

③ ピントフード着脱用ロック

④ シンクロターミナル

⑤ 焦点調節ノブ

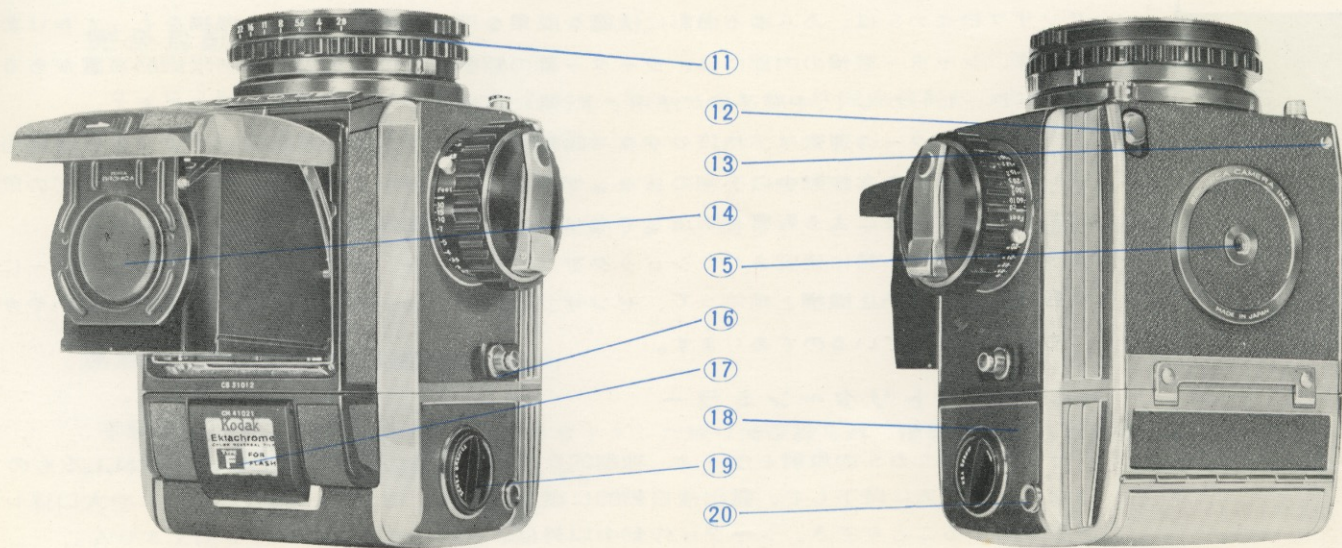
⑥ レンズ

⑦ 捲上クランク

⑧ シャッター・ダイヤル

⑨ シャッター・ボタン

⑩ 焦点深度検視用手動絞りボタン



⑪ 絞りプリセットリング

⑫ ミラー単独落しボタン

⑬ ケーブルリリース孔

⑭ ルーペ

⑮ 三脚取付孔

⑯ ストラップ取付座

⑰ フィルム種別表示窓

⑱ フィルムバック

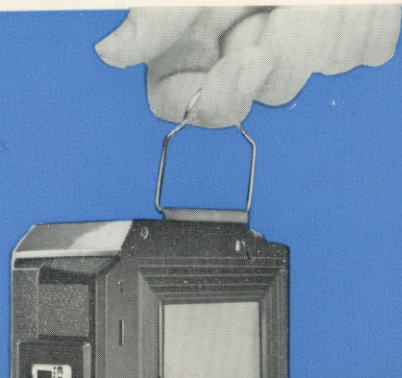
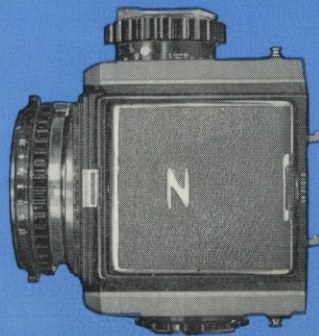
⑲ フィルム捲上環

⑳ フィルム番号表示窓

フィルムバック

フィルムを装填する部分で、カメラボディからの着脱が自在です。撮影の途中でも、一枚の無駄もなく、他のフィルムバックと白昼自由に交換できます。例えば、幾つかのフィルムバックにそれぞれ各種のフィルムを装填しておけば、カラーから白黒、白黒からカラー、或いは人工光用と昼光用など、いつでも取り換えて撮影できます。

フィルムバックは完全に自動連動式です。カメラボディから、はずしておいても、金属の引蓋があり、更に内側には引蓋に連動した遮光カーテンが内蔵されており、光線が入るようなことは絶対にありません。この引蓋を挿入しない限り、フィルムバックをカメラボディからはずすことはできません。又、フィルムバックがカメラボディからはずされている時は、この引蓋は抜けませんので、不用意な露光が防止できます。フィルムバックをカメラボディに取り付ける時は、フィルム又はシャッターが捲かれているかどうかを考える必要は全くありません。通常はシャッターとフィルムの両方を捲き上げる捲上クランクが、この場合は捲かれていない方だけを自動的に選択して捲き上げる構造になっているからです。例えば、新たにフィルムバックをカメラボディに取付けた場合シャッターが捲き上げられていて、フィルムが露出済の場合には、捲上クランクを廻すと、フィルムだけが一枚送られ、次の撮影準備が整います。その反対に、フィルムが捲き上げられていて、シャッターが捲き上げられていない時には、シャッターだけ単独に捲き上げられます。又、フィルムバックをカメラボディにとりつけても引蓋が完全に引き抜かれていなければ、シャッターは作動しません。



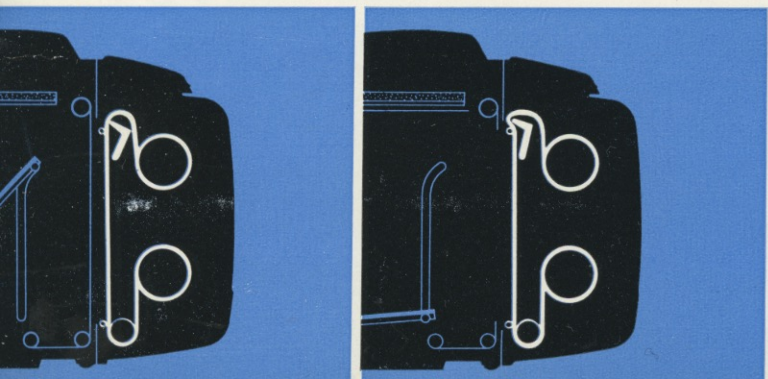
フィルム自動緊張装置

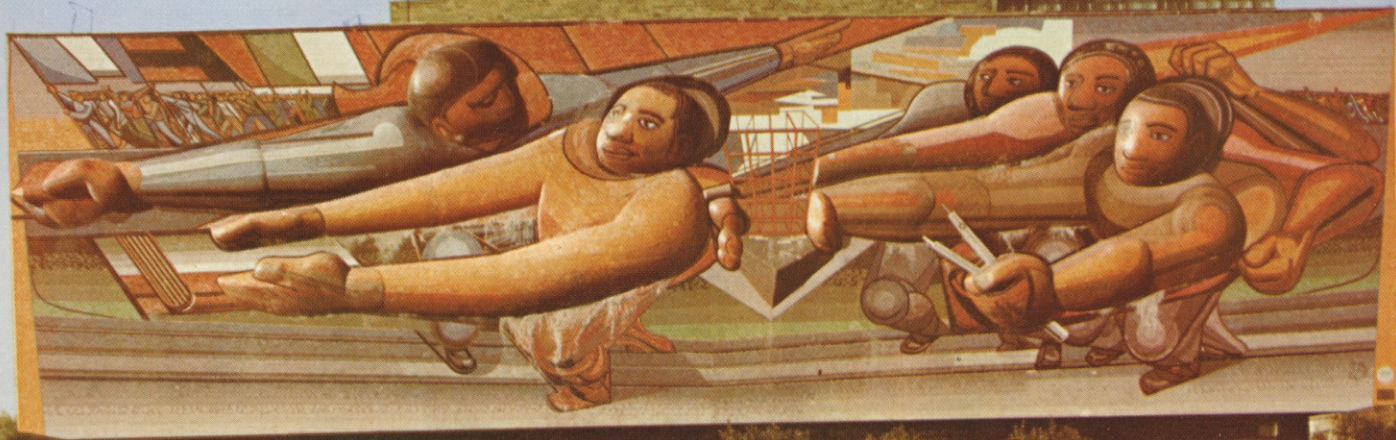
この装置によって、フィルムは完全な平面度を保ち、しかもフィルム捲上は円滑に行われます。フィルムを巻き上げている過程では、緊張装置は解除され、フィルムが撮影位置に巻き上げられると、自動的に緊張装置が働くからです。

ニッコールレンズ群

ゼンザプロニカSの優秀な性能は、世界的に定評あるニッコールの使用によって、最高度に発揮されます。このニッコールレンズ群は、ゼンザプロニカの為に特に新しく設計されたもので、5cm超広角から50cm超望遠に至るまで、各種あります。尚、5cm・7.5cm・8.5cm・13.5cmの各レンズには完全自動絞り装置が組み込まれています。

交換レンズはゼンザプロニカとゼンザプロニカSでは完全に共通でありマウントも、全く同じです。





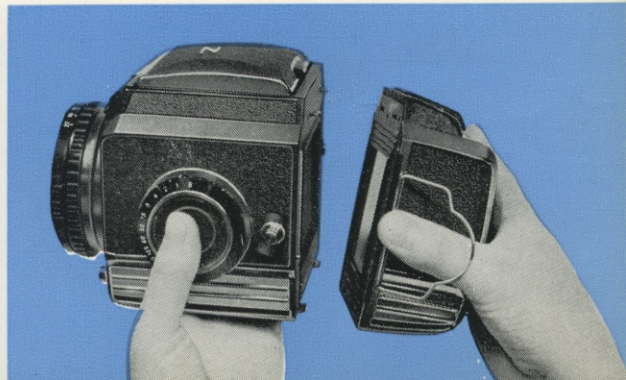
ゼンザ ブロニカS の使い方

フィルムバックの着脱

カメラボディに結合しているフィルムバックを取りはずすには、引蓋を挿入し、更に強く押してください。

カメラボディにフィルムバックを結合するには、カメラボディ下部の受け金具にフィルムバックをのせ、上部をカメラボディに押し付けます。引蓋を引き抜けば、完全に結合されます。

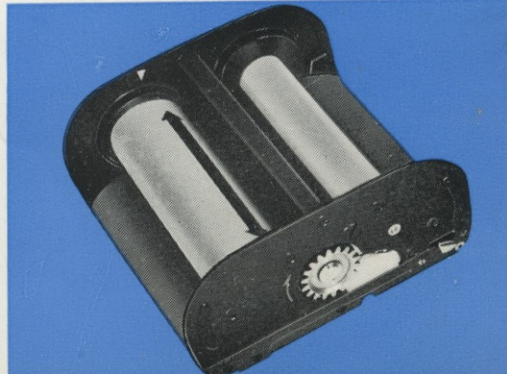
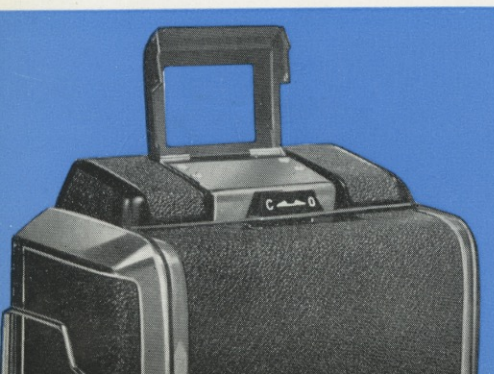
(注意)引蓋はフィルムバックの取りはずしの時にのみ必要なのですから、フィルムバックがカメラボディに結合している時には、必ず取りはずしておいてください。



フィルムの装填

ゼンザプロニカSには120ロールフィルム（ブローニーフィルム）が使用されます。カメラボディからフィルムバックをはずしても、取り付けたまゝでも、フィルムは装填出来ます。

- a フィルムインジケーターマスクを開き、ロックのボタンを“0”の方向に押し、後蓋が開きます。
- b 中枠をフィルムバックから取り出します。
- c 中枠の軸受の一方の端にスプリングが入っています。捲取りスプールの一方の端をスプリング式軸受に入れ、外方へ押し出すと容易にはまります。
- d 新しいフィルムは赤い矢印（▼）の付いた軸受に入れてください。リーダーペーパーの裏面黒色部が捲き取られるとき外側に出るよう確めてください。
- e リーダーペーパーを中枠裏側のフィルム圧板に沿って引き、その端を捲取りスプールの長い方の溝に確実に入れ、側面の歯車で回転して捲き込んでください。
- f 中枠の歯車とフィルムバックの歯車とが噛み合うように中枠をフィルムバックに装填します。
- g 中枠を押し付け、捲上環で巻きながら、リーダーペーパーのスタートマークを赤の矢印（▼）に合せて、後蓋を閉めてください。
- h フィルムインジケーターマスクの下の後蓋開閉ボタンを“C”の方向に赤い点がかくれるまで押ししてください。中枠が完全に入っていない場合には、後蓋が閉まりません。その場合には、歯車が噛み合っ

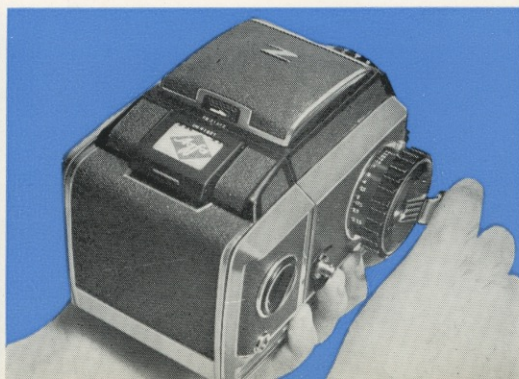


いないのですから、捲上環を少し廻せば、容易に閉まります。

- i フィルム外箱の蓋を切りとって、インジケーターマスクの中に入れておけば、フィルムの種類を確認できて便利です。
- j 自動復元式フィルム番号表示窓はフィルム撮影枚数を示します。i項迄の操作が済んだ状態では、この窓は0を示しています。
- k 次にフィルムバックをカメラボディに結合し、焦点調節ノブについている捲上クランクレバーを引き起し、そのレバーで止まるまで巻き上げてください。この時、フィルム番号表示窓は1を示します。
- l フィルムバックをカメラボディに結合しなくとも、フィルムバックの捲上環を止まるまで廻すことによって、k項の場合と同じく、巻き上げができます。

撮影済フィルムの取り出し

フィルムが全部撮影終了したら、捲上クランクを極端に軽くなる迄、巻き続けてください。そしてフィルムバックの後蓋を開いて、中枠から撮影済みのフィルムを取り出してください。12枚の撮影が終了すると、フィルム番号表示は赤線を示し、捲上クランクは自動的にフィルム送りのみを行う機構です。



撮 影

1. シャッターとフィルムの捲上

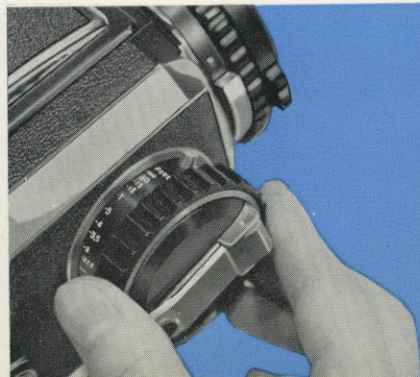
捲上クラックにより、シャッターとフィルムの捲上が行われます。フィルムが既に捲かれているときには、自動的にシャッターのみが捲き上げられ、シャッターが捲かれているときには、フィルムのみが捲き上げられるようになっています。

(注意) フィルムとシャッターは完全にクラックが止まるまで、必ず捲き上げてください。

2. 絞りのプリセットと焦点調節

- a レンズ絞りプリセットリングに依って撮影に適当な絞りをセットします。絞りプリセットリングを各目盛の中間にセットした場合にも、自動絞りはその数値で作動します。
- b ビントフードを開くには、開閉ボタンを矢印の方向に押してください。
- c ビントグラスの画像をみながら、焦点調節ノブで、焦点の調節を行います。焦点調節ノブには距離目盛が記され、緑色目盛は7.5cmレンズ用、赤色目盛は5cm用、白色目盛は13.5cm用となっています。

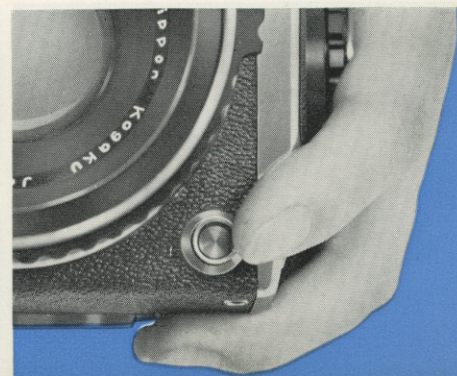
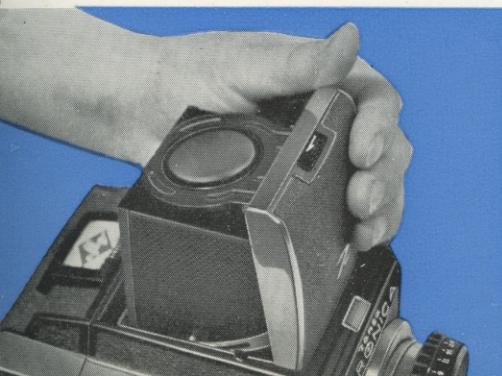
距離目盛を使用レンズに合わせるには、焦点調節の線出筒を止まるまでひっ込め、目盛環にあるピンを廻して、赤点の下にそのレンズに適合する距離目盛の無限大(∞)を合せてください。要はノブを押さえて目盛環のピンを止まるまで180°回転させれば自由に使用レンズと合せることができます。



- d 拡大像をみる時には、開いたピントフードの前面を手前に倒すと、ルーベがはねあがりますので、これを使用いたします。
- e ルーベを戻すには、ルーベの金属枠を止まるまで押し下げます。
- f ピントフードを閉じるには、両側面、背面、前面の順序でパネルをたぐみまます。
- g ピントフードをペンタプリズムやスポーツファインダー等と交換するため取りはずすには、カメラボディのネームプレートの上にあるロックを押しあげてください。
- h ピントフードをカメラボディに取りつけるには、ピントガラス枠後部の二つの爪とピントフード後部の穴を噛み合せてから、押しこんでください。

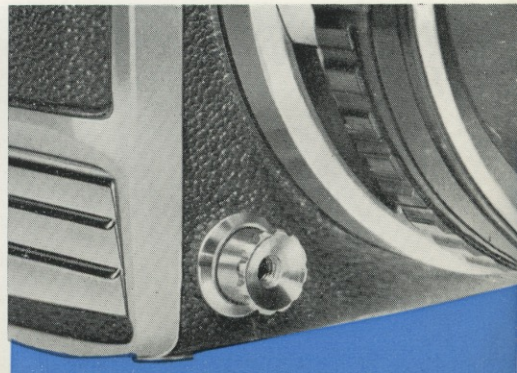
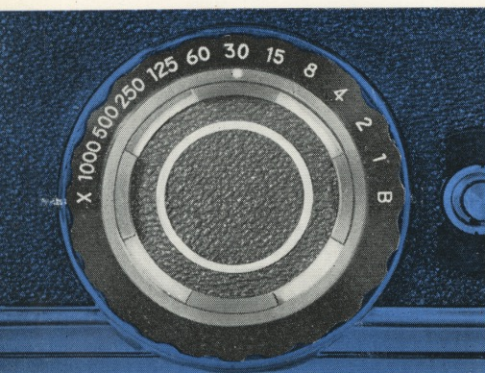
3. 焦点深度検視用手動絞りボタン

ゼンザブロニカSは、撮影のためにセットした絞値とは関係なく、レンズ(7.5cm・5cm・8.5cm・13.5cm)の絞りは常に開放となっています。実際に撮影する絞りの焦点深度を見る時はカメラボディ前面の赤いボタンを押してください。これで、あらかじめセットされた撮影の際の絞値逆絞られ、ピントガラス面で、焦点深度をみることができます。ボタンを放すと、絞りは直ちに開放に戻ります。



4. シャター

- a シャター速度のセットは、シャター捲上げの前でも後でも行うことができます。
- b シャターダイヤルの数字はシャター速度を示し、たとえば、1は1秒、60は $\frac{1}{60}$ 秒を示します。数字を合せる指標はダイヤルの内側にある赤点です。ダイヤルをB（バルブ）に合せると、シャターはシャターボタンを押している間だけ開きます。xは $\frac{1}{x}$ 秒でx接点によるフラッシュの最高の速度です。（フラッシュ撮影の項参照）
- c ダイヤルをセットするには、左又は右に廻して、数字に指標を合せます。この場合、クリックによって、各目盛で止まりますが、クリックの中間に止めて使用すれば、中間速度も得られます。
- d シャター目盛は倍数系列等間隔目盛です。尚、シャター目盛の数字は赤色、緑色、白色、黄色に色分けしてありますが、これについてはフラッシュ撮影の項を参照してください。
- e シャターボタンには、タイム装置と安全ロックがついています。
“タイム”露出の場合には、シャターダイヤルをBに合わせ、シャターボタンを押したまま、左（反時計方向）に廻すと“タイム”になります。シャターボタンを元に戻すとシャターが閉じます。シャターボタンをロックする場合は、シャターボタンを右（時計方向）に廻してください。下方の赤点が横にあるときは、シャターはされません。



5. ミラー単独落しボタン

このボタンはシャッターボタンの下部、カメラボディの底面に付いております。シャッター巻き上げ後、ミラー単独落しボタンを引くと、ミラーだけが落ちます。この状態でシャッターボタンを押せば、ミラーショックなしの撮影ができますので、静物、近接撮影などの場合に便利です。

6. 露 出

フィルムとシャッターを巻き、絞りとシャッター速度

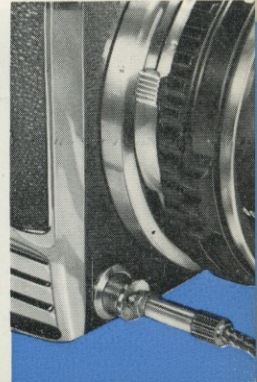
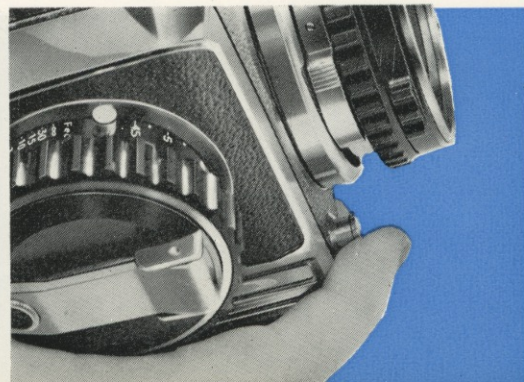
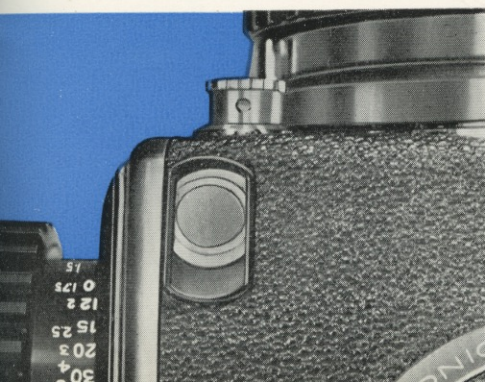
を決め、レンズの焦点を合せたならば、次は露出です。

- a 引蓋が挿入されている時にはシャッターが切れませんから、抜きとってください。

(注意) フィルムバックをはずす時以外は引蓋は必ず抜き取っておいてください。

- b 露出にはシャッターボタン又はケーブルリリースを使います。緩速度露出には、ケーブルリリースの使用が望ましく、ケーブルリリース孔は、手動絞りボタンの下とシャッターボタンの中心の二箇所についております。

どちらを使用しても結構ですがボディ下部にあるリリース孔の方が軽く作動します。



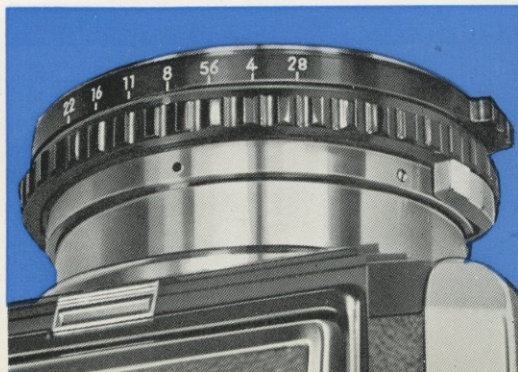
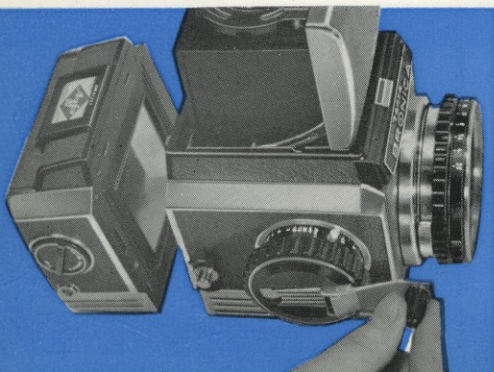
7. 二重露出

特殊な理由により、故意に二重露出をする場合には、最初の露出後、フィルムバックをはずし、シャッターのみを巻き上げた後、再びフィルムバックをカメラボディに結合し、再度露出してください。

8. レンズの交換

- a レンズを取りはずすには、バヨネットロックを親指で押しながら、レンズを $\frac{1}{8}$ 回転左（反時計方向）に廻してください。
- b レンズを取りつけるには、レンズバヨネットの赤点とカメラボディ繰出筒の赤点とを合せ、バヨネットロックが落ちるまで、レンズを右（時計方向）に廻してください。
- c 焦点距離18cm以上の望遠レンズを取りつけるには、大型バヨネットを使用します。繰出筒を無限大に戻し、繰出筒の赤点とレンズバヨネット部の赤点と合せ、右に止るまで廻してください。この場合、焦点調節はレンズの焦点調節環によって行います。

（注意）プロニカSの繰出筒には、内側径57mmピッチ1mmのネジマウントがあります、接写リングの取り付け又は特殊な用途に利用できます。例えばお手持レンズを簡単に加工取付けるなどです。



9. フラッシュ撮影

ゼンザブロニカSはシンクロ接点がシャッターダイヤルに連動して、自動的に切り替わりますから、特別の操作は必要なく、次のようにフラッシュ撮影ができます。

尚、ゼンザブロニカSのフラッシュターミナルには標準接続コード（ドイツ式）を使って下さい。

シャッター バルブ種別	速度											
	B	1	2	4	8	15	30	60	125	250	500	1000
F級バルブ	[Shaded area from B to 15]											
M級バルブ	[Shaded area from B to 250]											
X(ストロボ)	[Shaded area from B to 15]											(1/4)
FP級バルブ	[Shaded area from B to 1000]											

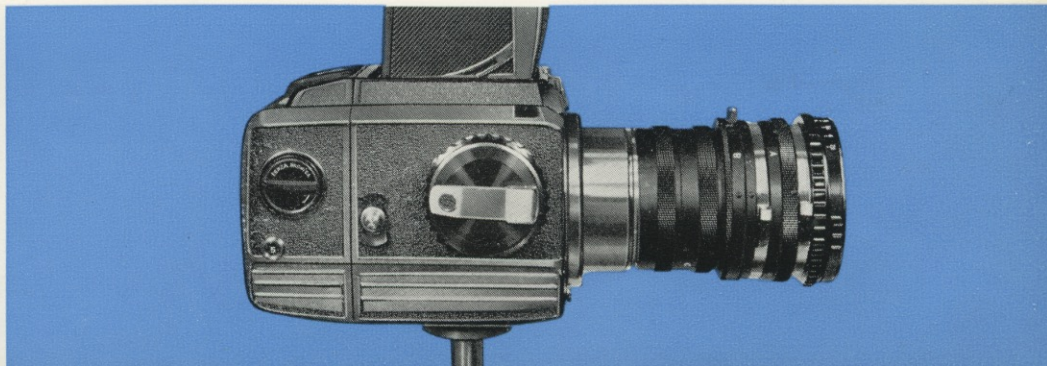
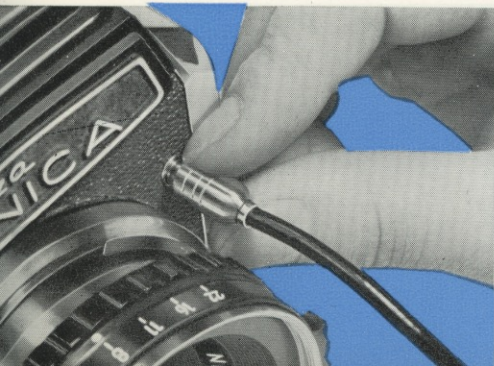
シャッターダイヤル
文字色別 赤 ← 緑 → ← 白 → 黄

10. 近接撮影

ゼンザブロニカSは接写リングを使わないでも、標準レンズ（7.5cm）において50cm（被写体とフィルム面の距離）までの、近接撮影ができます。

更に近接して撮影する場合には、ブロニカ専用の接写リングを御使用ください。接写リングは、Aリング、Bリング、Cリング（2箇）の4箇1組になっています。

	F2.8		F3.5		F3.5	
	ブロニカ用 ニッコール7.5cm	ニッコール7.5cm	ブロニカ用 ニッコール13.5cm	ニッコール13.5cm	ブロニカ用 ニッコール5cm	ニッコール5cm
リングナン	0.2	1.4	0.15	1.3	0.35	1.8
鏡胴を全部挿出した場合						
Aリング	0.44	2.0	0.25	1.6	0.69	2.8
A+B	0.66	2.7	0.4	1.9	1.03	4.1
A+B+C	0.88	3.5	0.6	2.5	1.47	6.1
A+B+C+C	1.1	4.4	0.65	2.7	1.7	7.2



ストラップ

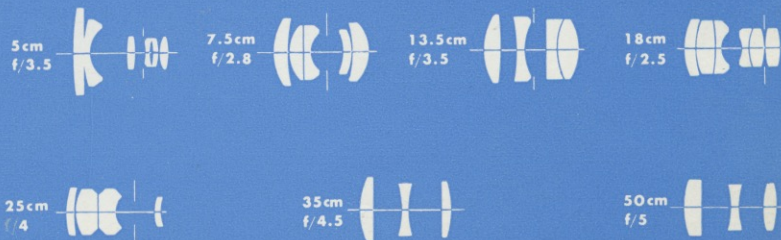
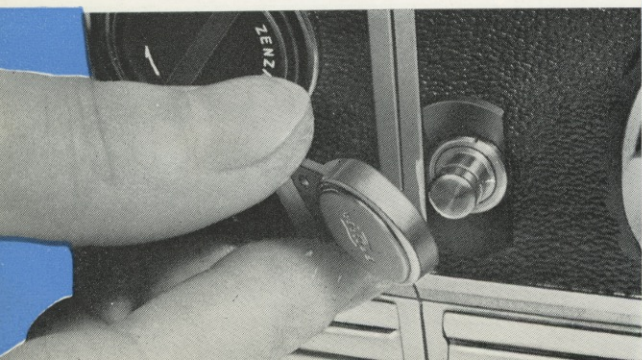
ストラップの両端には、2つの取付金具がありますからこれをカメラの両側の取付座に、それぞれ押し込んでください。これでストラップはしっかりと、カメラに付きます。

ストラップをはずすには、カメラの両側の取付座の裾にある小さな翼状金具を、水平につまみ上げて取付金具をはずします。

撮影中カメラを安定させるには、ピントガラスの画像を見易くするように、ストラップの長さを調節し、露出する際にはカメラを下に引張るようにします。これは手ブレを防ぐに極めて有効な方法です。

ニッコール交換レンズ群性能表

	焦点距離	口径比	画角	比率	至 近 距 離		絞り	フィルター シリーズ	フォーカシング
広 角	5 cm	3.5	77°	0.67	29cm	12inch	完全自動	82mm ねじ込	ボディ繰出式
標 準	7.5	2.8	55°	1	50cm	20inch	"	VIII	"
大口径	8.5	1.8	50°	1.13	60cm	2feet	"	VIII	"
望 遠	13.5	3.5	33°	1.8	1.3 m	4.5feet	"	VIII	"
"	18	2.5	25°	2.4	1.5 m	5feet	プリセット	IX	ヘリコイド
"	25	4	18°	3.33	2.3 m	8feet	"	IX	"
"	35	4.5	13°	4.67	4 m	13feet	"	IX	"
"	50	5	9°	6.67	8 m	26feet	"	110mm 枠付	"



フィルター

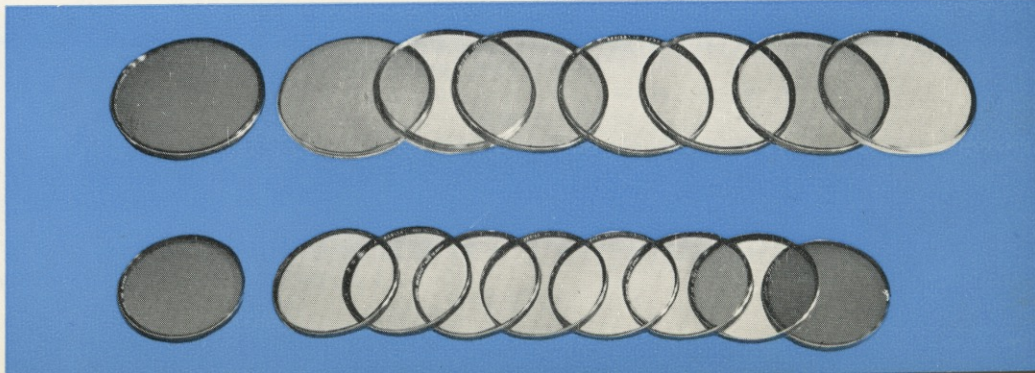
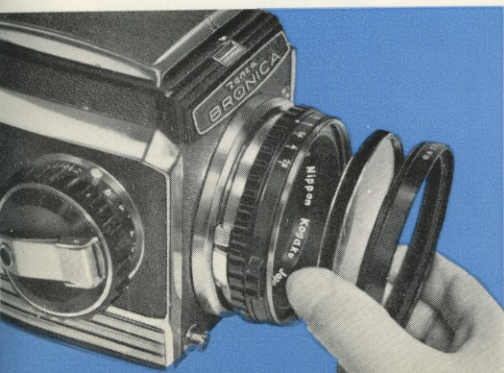
広角5cm用フィルターは、ネジ込み式、その他はフィルターアダプターリングによって、取り付けます。7.5cm、13.5cmレンズ用リングは別にお求め下さい。18cm～50cmレンズは附属しているレンズフードで取り付けることができます。尚、5cm用フィルターにアダプターリングを使うことによって18cm、25cm、35cm、レンズに取り付けることができます。

モノクローム用	一般呼称	色相	露出		倍 数		用 途
			※B型 露光	※C型 露光	※B型 電光	※C型 電光	
S L-39	U V	無	1	1	1	1	紫外線を完全に吸収しますので、鮮明な画像が得られます。
S Y-44	Y ₁	淡黄	1.5	1.3	1.5	1.2	青空を若干抑え、遠景描写を鮮明にして、軟かなコントラストが得られます。
S Y-48	Y ₂	黄	2.0	1.5	2.0	1.5	更にコントラストが明瞭になり、赤及び黄を明るく表現します。一般風景撮影に多く使われるフィルターです。
S O-56	Y A ₁	黄赤	4.0	3.0	4.0	2.0	青空を暗く霧を明瞭に表現します。明暗に対して強いコントラストが得られます。
S R-60	R ₁	赤	8.0	4.0	6.0	3.0	更に強コントラストが得られます。赤外フィルムと併用して、すぐれた遠景描写の赤外撮影が出来ます。
G-55	※O ₂	黄緑	2.5	2.0	4.0	3.0	バンクロフィルムを使い、肉眼と同様な明暗コントラストが得られます。

※B型バンクロ : コニバンS・SS、ネオバンS・SS、プラスX、ダブルX、ベリクローム C型バンクロ : SSS級フィルム、トライX

カラー用	色相	色温度変換率 ※1度(1.1)上	露出倍数	使用カラーフィルム	用 途
L-1A	微紫	0	1	デーライトタイプ タングステンタイプ	紫外線をカットして遠景の青味がかかるのを防ぎ、カラー・バランスを整えます。又、レンズの保護として常用されます。
0-85A	橙	+12	2	タングステンタイプ	色温度変換用タングステンタイプカラーフィルムで昼光下の撮影に使います。
B-80A	濃青	-12	2.5	デーライトタイプ	色温度変換用 デーライトタイプカラーフィルムで人工光下(写真電球)の撮影に使います。
B-82C	青	-4.0	1.5	デーライトタイプ	朝、夕の陽光下の撮影では、赤味がちの写真になります。この赤味を除き、バランスのとれた色調が得られます。
0-81B	帯黄	+4.0	1.5	デーライトタイプ	曇天、晴天日陰等は、青空光の影響から青味がちになります。この青味を除き、カラー・バランスを整えます。

※ (+) 色温度下降 (-) 色温度上昇を示します。



性能

型	式	白昼フィルム交換式6×6判一眼レフレックス
フ	イ	ム
標	レ	120フィルム(ブローニーフィルム)使用12枚撮り
準	ン	ズ
レ	ズ	ニッコール7.5cm F:2.8 4群5枚
マ	ウ	ント
・		パヨネット式ブロンカマウント、(スクリューマウン ト57mmφ・P=1及び大型望遠レンズ用大型パヨネット 付)
フ	ア	イ
ン	ダ	ー
ピ	ン	ト
フ	ード	
		フレネルレンズ、ルーベ付
		着脱式 ペンタプリズム、スポーツファインダーに交 換可能
距	離	調
節		
節		
目	盛	
盛		
7.5cm	5cm	13.5cm
レ	ン	ズ
用	目	盛
付		
降	下	式
イ	ン	ス
タ	ン	ト
リ	ター	ン
ボ	タ	ン
に	よ	り
ミ	ラ	ー
単	独	落
し		
ボ	タ	ン
に	よ	り
ミ	ラ	ー
の	み	先
落	し	可
能		
完	全	自
動	絞	り
5cm	7.5cm	13.5cm
8.5cm		
ア	リ	セ
ッ	セ	ッ
ト	絞	り
18cm	25cm	35cm
50cm		
手	動	絞
絞		
リ		
手	動	絞
リ		
ボ	タ	ン
に	よ	り
常	時	焦
点	深	度
確	認	可
能		
縦	走	り
フ	ォ	ー
カ	ル	プ
レ	ー	ン
B	1	2
4	8	15
30	60	125
250	500	1000
×	($\frac{1}{50}$)	
T		
(シャ	ター
ボ	タ	ン
ロ	ック	操
作	に	よ
る	タイ	ム
)		
中	間	速
度	可	能
一	軸	不
廻	転	
自	動	切
換	式	
F	P	級
バル	ブ	=
全	速	度
(X	を
除	く)
M	級	バル
ブ	=	B
・	1	~
$\frac{1}{250}$		
F	級	バル
ブ	=	B
・	1	~
$\frac{1}{50}$		
X	(ス
ト	ロ	ボ
)	=	X
・	1	~
$\frac{1}{50}$		
ボ	ディ	に
完	全	連
動	す	る
着	脱	自
在	の	フ
ィ	ル	ム
バ	ック	
引		
蓋	安	全
機	構	
・	遮	光
幕	内	蔵
ス	タ	ー
ト	マ	ー
ク	に	よ
る	オ	ー
ト	マ	ッ
ト		
後	蓋	蝶
番	式	
・	特	殊
中	枠	使
用		
ク	ラ	ン
ク	に	よ
る	セ	ル
フ	コ	ッ
キ	ン	グ
式		
自	動	復
元	式	
装		
18	-	8
ス	テ	ン
レ	ス	鋼
板	磨	仕
上		
100	×	100
×	140	mm



ソフト ケース

発売元 **株式会社** **ブロニカ**
東京都千代田区神田多町2の4 (251) 8 2 8 1 (代)

製造元 **ブロニカカメラ株式会社**
東京都板橋区南常盤台2の25 (961) 5 2 0 1 (代)

